

新潟県土木工事標準仕様書(その1)(文章) 新旧対照表

現行(令和7年2月20日以降適用版)											改定案(令和8年1月20日以降適用版)										
ページ	編	章	節	条	項	項以下	編章節条(項目見出し)	現行条文	編	章	節	条	項	項以下	編章節条(項目見出し)	新条文	改訂理由				
389	8	6	2	0	0	0	18個目	厚生労働省山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン(平成30年1月)	8	6	2	0	0	0	18個目	厚生労働省山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン(令和6年3月)	適用すべき諸基準類との整合				
397	8	7	0	0	0	0	第7章	コンクリートシェッド	8	7	0	0	0	0	第7章	コンクリートシェッド					
400	8	7	6	0	0	0	第6節	シェッド付属物	8	7	6	0	0	0	第6節	シェッド付属物					
400	8	7	6	5	3	0		3. 銘板の材質はJIS H-2202(鋳物用銅合金地金)とする。	8	7	6	5	3	0		3. 橋歴板に用いる材質は、第3編3-1-3-25銘板工の規定による。	適用すべき諸基準類との整合				
417	8	13	0	0	0	0	第13章	道路維持	8	13	0	0	0	0	第14章	道路補修					
417	8	13	2	0	0	0	第2節	適用すべき諸基準	8	13	2	0	0	0	第2節	適用すべき諸基準					
417	8	13	2	0	0	0	2個目	日本道路協会 舗装再生便覧(平成22年11月)	8	13	2	0	0	0	2個目	日本道路協会 舗装再生便覧(令和6年3月)	適用すべき諸基準類との整合				
418	8	13	4	0	0	0	第4節	舗装工	8	13	4	0	0	0	第4節	舗装工					
419	8	13	4	7	0	0	8-13-4-7	路上再生工	8	13	4	7	0	0	8-13-4-7	路上再生工					
420	8	13	4	7	1	3	(3)	受注者は、施工開始日に採取した破碎混合直後の試料を用い、「舗装調査・試験法便覧」(日本道路協会、平成31年3月)に示される「G021 砂置換法による路床の密度の測定方法」により路上再生安定処理材料の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。	8	13	4	7	1	3	(3)	受注者は、施工開始日に採取した破碎混合直後の試料を用い、「舗装調査・試験法便覧」(日本道路協会、平成31年3月)に示される「F007 突固め試験方法」により路上再生安定処理材料の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。	誤記修正				
420	8	13	4	7	2	2	(2)	① 受注者は、リックス方式の場合、設計図書に示す配合比率で再生表層混合物を作製しマーシャル安定度試験を行い、その品質が第3編3-1-6-3アスファルト舗装の材料、表3-1-23マーシャル安定度試験基準値を満たしていることを確認し、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。ただし、これまでの実績がある場合で、設計図書に示す配合比率の再生表層混合物が基準を満足し、施工前に監督員が承諾した場合は、マーシャル安定度試験を省略することができるものとする。	8	13	4	7	2	2	(2)	① 受注者は、リックス方式の場合、設計図書に示す配合比率で再生表層混合物を作製しマーシャル安定度試験を行い、その品質が第3編3-1-6-3アスファルト舗装の材料、表3-1-21マーシャル安定度試験基準値を満たしていることを確認し、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。ただし、これまでの実績がある場合で、設計図書に示す配合比率の再生表層混合物が基準を満足し、施工前に監督員が承諾した場合は、マーシャル安定度試験を省略することができるものとする。	図表の削除による番号の修正				
421	8	13	4	7	2	3	(3)	受注者は、リペーブ方式による新設アスファルト混合物を除き、再生表層混合物の最初の1日の舗設状況を観察する一方、その混合物についてマーシャル安定度試験を行い、第3編3-1-6-3アスファルト舗装の材料、表3-1-23マーシャル安定度試験基準値に示す基準値と照合しなければならない。もし基準値を満足しない場合には、骨材粒度またはアスファルト量の修正を行い、設計図書に関して監督員の承諾を得最終的な配合(現場配合)を決定しなければならない。リペーブ方式における新規アスファルト混合物の現場配合は、第3編3-1-6-3アスファルト舗装の材料の該当する項により決定しなければならない。	8	13	4	7	2	3	(3)	受注者は、リペーブ方式による新設アスファルト混合物を除き、再生表層混合物の最初の1日の舗設状況を観察する一方、その混合物についてマーシャル安定度試験を行い、第3編3-1-6-3アスファルト舗装の材料、表3-1-21マーシャル安定度試験基準値に示す基準値と照合しなければならない。もし基準値を満足しない場合には、骨材粒度またはアスファルト量の修正を行い、設計図書に関して監督員の承諾を得最終的な配合(現場配合)を決定しなければならない。リペーブ方式における新規アスファルト混合物の現場配合は、第3編3-1-6-3アスファルト舗装の材料の該当する項により決定しなければならない。	図表の削除による番号の修正				
434	8	14	0	0	0	0	第14章	道路修繕	8	14	0	0	0	0	第14章	道路修繕					
434	8	14	2	0	0	0	第2節	適用すべき諸基準	8	14	2	0	0	0	第2節	適用すべき諸基準					
434	8	14	2	0	0	0	4個目	日本道路協会 舗装再生便覧(平成22年11月)	8	14	2	0	0	0	4個目	日本道路協会 舗装再生便覧(令和6年3月)	適用すべき諸基準類との整合				

※ R8改定箇所見え消し

新潟県土木工事標準仕様書(その1)(図表) 新旧対照表

現行 (令和7年2月20日以降適用版)											改定案 (令和8年1月20日以降適用版)																																																																																																											
ページ	編	章	節	条	項	項以下	編章節条項	編章節条項	編章節条項	編章節条項	項以下	編章節条項	編章節条項	編章節条項	編章節条項	項以下	編章節条項	編章節条項	編章節条項	編章節条項	項以下	改訂理由																																																																																																
	2	0	0	0	0	0	第2編	材 料 編					2	0	0	0	0	第2編	材 料 編																																																																																																			
	2	2	0	0	0	0	第2章	土木工事材料					2	2	0	0	0	第2章	土木工事材料																																																																																																			
	2	2	3	0	0	0	第3節	骨材					2	2	3	0	0	第3節	骨材																																																																																																			
	2	2	3	3	0	0	2-2-3-3	アスファルト舗装用骨材					2	2	3	3	0	0	2-2-3-3	アスファルト舗装用骨材																																																																																																		
68	2	2	3	3	1		表2-2-4 再生砕石の粒度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>表2-2-4 再生砕石の粒度</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">ふるい目の開き</th> <th colspan="3">粒度範囲 (呼び名)</th> </tr> <tr> <th>40~0 (RC-40) (ARC-40(RC混合)) (ARC-40(C混合))</th> <th>30~0 (RC-30)</th> <th>20~0 (RC-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通過</td> <td>53mm</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通過</td> <td>37.5mm</td> <td>95~100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>質量百分率 (%)</td> <td>31.5mm</td> <td>-</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>26.5mm</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>19mm</td> <td>50~80</td> <td>55~85</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13.2mm</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.75mm</td> <td>15~40</td> <td>15~45</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.36mm</td> <td>5~25</td> <td>5~30</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10~35</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注1] 再生骨材の粒度は、モルタル粒などを含んだ破砕されたままの見かけの骨材粒度を使用する。 [注2] 再生砕石には、ゴミ、泥、有機物、プラスチック、金属、ガラス、陶磁器、レンガ、瓦等を有害量含んではならない。</p>				ふるい目の開き	粒度範囲 (呼び名)			40~0 (RC-40) (ARC-40(RC混合)) (ARC-40(C混合))	30~0 (RC-30)	20~0 (RC-20)	通過	53mm	100		通過	37.5mm	95~100	100	質量百分率 (%)	31.5mm	-	95~100		26.5mm	-	-		19mm	50~80	55~85		13.2mm	-	-		4.75mm	15~40	15~45		2.36mm	5~25	5~30				10~35		2	2	3	3	1	0	表2-2-4 再生砕石の粒度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>表2-2-4 再生砕石の粒度</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">ふるい目の開き</th> <th colspan="3">粒度範囲 (呼び名)</th> </tr> <tr> <th>40~0 (RC-40) (ARC-40(RC混合)) (ARC-40(C混合))</th> <th>30~0 (RC-30)</th> <th>20~0 (RC-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通過</td> <td>53mm</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通過</td> <td>37.5mm</td> <td>95~100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>質量百分率 (%)</td> <td>31.5mm</td> <td>-</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>26.5mm</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>19mm</td> <td>50~80</td> <td>55~85</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13.2mm</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.75mm</td> <td>15~40</td> <td>15~45</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.36mm</td> <td>5~25</td> <td>5~30</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10~35</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注1] 再生骨材の粒度は、モルタル粒などを含む破砕されたままの見掛けの骨材粒度を使用する。 [注2] 再生砕石には、ゴミ、泥、有機物、プラスチック、金属、ガラス、陶磁器、レンガ、瓦等を有害量含んではならない。</p>				ふるい目の開き	粒度範囲 (呼び名)			40~0 (RC-40) (ARC-40(RC混合)) (ARC-40(C混合))	30~0 (RC-30)	20~0 (RC-20)	通過	53mm	100		通過	37.5mm	95~100	100	質量百分率 (%)	31.5mm	-	95~100		26.5mm	-	-		19mm	50~80	55~85		13.2mm	-	-		4.75mm	15~40	15~45		2.36mm	5~25	5~30				10~35	諸基準類との整合								
ふるい目の開き	粒度範囲 (呼び名)																																																																																																																					
	40~0 (RC-40) (ARC-40(RC混合)) (ARC-40(C混合))	30~0 (RC-30)	20~0 (RC-20)																																																																																																																			
通過	53mm	100																																																																																																																				
通過	37.5mm	95~100	100																																																																																																																			
質量百分率 (%)	31.5mm	-	95~100																																																																																																																			
	26.5mm	-	-																																																																																																																			
	19mm	50~80	55~85																																																																																																																			
	13.2mm	-	-																																																																																																																			
	4.75mm	15~40	15~45																																																																																																																			
	2.36mm	5~25	5~30																																																																																																																			
			10~35																																																																																																																			
ふるい目の開き	粒度範囲 (呼び名)																																																																																																																					
	40~0 (RC-40) (ARC-40(RC混合)) (ARC-40(C混合))	30~0 (RC-30)	20~0 (RC-20)																																																																																																																			
通過	53mm	100																																																																																																																				
通過	37.5mm	95~100	100																																																																																																																			
質量百分率 (%)	31.5mm	-	95~100																																																																																																																			
	26.5mm	-	-																																																																																																																			
	19mm	50~80	55~85																																																																																																																			
	13.2mm	-	-																																																																																																																			
	4.75mm	15~40	15~45																																																																																																																			
	2.36mm	5~25	5~30																																																																																																																			
			10~35																																																																																																																			
	2	2	3	3	0	0	2-2-3-3	アスファルト舗装用骨材					2	2	3	3	0	0	2-2-3-3	アスファルト舗装用骨材																																																																																																		
68	2	2	3	3	1		表2-2-5 再生粒度調整砕石の粒度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>表2-2-5 再生粒度調整砕石の粒度</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">ふるい目の開き</th> <th colspan="3">粒度範囲 (呼び名)</th> </tr> <tr> <th>40~0 (RM-40)</th> <th>30~0 (RM-30)</th> <th>25~0 (RM-25)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通過</td> <td>53mm</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通過</td> <td>37.5mm</td> <td>95~100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>質量百分率 (%)</td> <td>31.5mm</td> <td>-</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>26.5mm</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>19mm</td> <td>80~90</td> <td>80~90</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13.2mm</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.75mm</td> <td>30~85</td> <td>30~85</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.36mm</td> <td>20~50</td> <td>20~50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>425μm</td> <td>10~30</td> <td>10~30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75μm</td> <td>2~10</td> <td>2~10</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 再生骨材の粒度は、モルタル粒などを含んだ破砕されたままの見かけの骨材粒度を使用する。</p>				ふるい目の開き	粒度範囲 (呼び名)			40~0 (RM-40)	30~0 (RM-30)	25~0 (RM-25)	通過	53mm	100		通過	37.5mm	95~100	100	質量百分率 (%)	31.5mm	-	95~100		26.5mm	-	-		19mm	80~90	80~90		13.2mm	-	-		4.75mm	30~85	30~85		2.36mm	20~50	20~50		425μm	10~30	10~30		75μm	2~10	2~10		2	2	3	3	1	0	表2-2-5 再生粒度調整砕石の粒度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>表2-2-5 再生粒度調整砕石の粒度</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">ふるい目の開き</th> <th colspan="3">粒度範囲 (呼び名)</th> </tr> <tr> <th>40~0 (RM-40)</th> <th>30~0 (RM-30)</th> <th>25~0 (RM-25)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通過</td> <td>53mm</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通過</td> <td>37.5mm</td> <td>95~100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>質量百分率 (%)</td> <td>31.5mm</td> <td>-</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>26.5mm</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>19mm</td> <td>80~90</td> <td>80~90</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13.2mm</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.75mm</td> <td>30~85</td> <td>30~85</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.36mm</td> <td>20~50</td> <td>20~50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>425μm</td> <td>10~30</td> <td>10~30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75μm</td> <td>2~10</td> <td>2~10</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] 再生骨材の粒度は、モルタル粒などを含む破砕されたままの見掛けの骨材粒度を使用する。</p>				ふるい目の開き	粒度範囲 (呼び名)			40~0 (RM-40)	30~0 (RM-30)	25~0 (RM-25)	通過	53mm	100		通過	37.5mm	95~100	100	質量百分率 (%)	31.5mm	-	95~100		26.5mm	-	-		19mm	80~90	80~90		13.2mm	-	-		4.75mm	30~85	30~85		2.36mm	20~50	20~50		425μm	10~30	10~30		75μm	2~10	2~10	諸基準の改定に伴う
ふるい目の開き	粒度範囲 (呼び名)																																																																																																																					
	40~0 (RM-40)	30~0 (RM-30)	25~0 (RM-25)																																																																																																																			
通過	53mm	100																																																																																																																				
通過	37.5mm	95~100	100																																																																																																																			
質量百分率 (%)	31.5mm	-	95~100																																																																																																																			
	26.5mm	-	-																																																																																																																			
	19mm	80~90	80~90																																																																																																																			
	13.2mm	-	-																																																																																																																			
	4.75mm	30~85	30~85																																																																																																																			
	2.36mm	20~50	20~50																																																																																																																			
	425μm	10~30	10~30																																																																																																																			
	75μm	2~10	2~10																																																																																																																			
ふるい目の開き	粒度範囲 (呼び名)																																																																																																																					
	40~0 (RM-40)	30~0 (RM-30)	25~0 (RM-25)																																																																																																																			
通過	53mm	100																																																																																																																				
通過	37.5mm	95~100	100																																																																																																																			
質量百分率 (%)	31.5mm	-	95~100																																																																																																																			
	26.5mm	-	-																																																																																																																			
	19mm	80~90	80~90																																																																																																																			
	13.2mm	-	-																																																																																																																			
	4.75mm	30~85	30~85																																																																																																																			
	2.36mm	20~50	20~50																																																																																																																			
	425μm	10~30	10~30																																																																																																																			
	75μm	2~10	2~10																																																																																																																			
	2	2	3	4	0	0	2-2-3-4	アスファルト用再生骨材					2	2	3	4	0	0	2-2-3-4	アスファルト用再生骨材																																																																																																		

新潟県土木工事標準仕様書(その1)(図表) 新旧対照表

現行 (令和7年2月20日以降適用版)							改定案 (令和8年1月20日以降適用版)																																	
ページ	編	章	節	条	項	項以下	編章節条 (項目見出し)	現行条文	編	章	節	条	項	項以下	編章節条 (項目見出し)	新条文	改訂理由																							
71	2	2	3	4	0	0	表2-2-12 アスファルトコンクリート再生骨材の品質	<p style="text-align: center;">表2-2-12 アスファルトコンクリート再生骨材の品質</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">旧アスファルトの含有量</td> <td style="width: 10%;">%</td> <td style="width: 30%;">3.8以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">旧アスファルトの性状</td> <td>針入度</td> <td>1/10mm</td> </tr> <tr> <td>圧裂係数</td> <td>MPa/mm</td> </tr> <tr> <td>骨材の微粒量</td> <td>%</td> <td>5以下</td> </tr> </table> <p>〔注1〕各項目は13～0mmの粒度区分のものに通用する。</p> <p>〔注2〕アスファルトコンクリート再生骨材の旧アスファルト含有量及び骨材の微粒分量試験で75μmを通過する量は、アスファルトコンクリート再生骨材の乾燥質量に対する百分率で表したものである。</p> <p>〔注3〕骨材の微粒分量試験はJIS A 1103 (骨材の微粒分量試験方法)により、試料のアスファルトコンクリート再生骨材の水洗い前の75μmふるいにとどまるものと、水洗い後の75μmふるいにとどまるものを乾燥もしくは80℃以下の乾燥炉で乾燥し、その質量差を求めたものである (旧アスファルトはアスファルトコンクリート再生骨材の質量に含まれるが、75μmふるい通過分に含まれる旧アスファルトは微粒量なので、骨材の微粒分量試験で失われる量の一部として扱う)。</p> <p>〔注4〕旧アスファルトの性状は、針入度または、圧裂係数のどちらかが基準を満足すればよい。</p>	旧アスファルトの含有量	%	3.8以上	旧アスファルトの性状	針入度	1/10mm	圧裂係数	MPa/mm	骨材の微粒量	%	5以下	2	2	3	4	0	0	表2-2-12 針入度を適用するアスファルトコンクリートの再生骨材の品質	<p style="text-align: center;">表2-2-12 針入度を適用するアスファルトコンクリート再生骨材の品質</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">項目</th> <th style="width: 10%;">%</th> <th style="width: 30%;">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旧アスファルトの含有量</td> <td>%</td> <td>3.8以上</td> </tr> <tr> <td>旧アスファルトの針入度 (25℃) 1/10mm</td> <td></td> <td>20以上</td> </tr> <tr> <td>骨材の微粒分量</td> <td>%</td> <td>5以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔注1〕アスファルトコンクリート再生骨材に含まれるアスファルトを旧アスファルト、新たに用いるアスファルトを新アスファルトと称する。</p> <p>〔注2〕アスファルトコンクリート再生骨材の旧アスファルト含有量、針入度および骨材の微粒分量は、実際の製造に用いる13～0mmの粒度に適用する。なお、13mm以下が2種類に分級されている場合には、それぞれの粒度区分を別々に試験して合成比率に応じて計算により13～0mm相当分を求めてもよい。</p> <p>〔注3〕旧アスファルトの含有量および骨材の微粒分量は、アスファルトコンクリート再生骨材の乾燥質量に対する百分率で表す。</p> <p>〔注4〕骨材の微粒分量は「JIS A 1103:2014 骨材の微粒分量試験方法」により求める。</p> <p>〔注5〕アスファルト混合物層の切削材は、アスファルトコンクリート再生骨材の品質に適合するものであれば再生加熱アスファルト混合物に利用できる。ただし、切削材は粒度がばらつきやすいので他のアスファルトコンクリート再生材を調整して使用することが望ましい。</p>	項目	%	目標値	旧アスファルトの含有量	%	3.8以上	旧アスファルトの針入度 (25℃) 1/10mm		20以上	骨材の微粒分量	%	5以下	諸基準類との整合
旧アスファルトの含有量	%	3.8以上																																						
旧アスファルトの性状	針入度	1/10mm																																						
	圧裂係数	MPa/mm																																						
骨材の微粒量	%	5以下																																						
項目	%	目標値																																						
旧アスファルトの含有量	%	3.8以上																																						
旧アスファルトの針入度 (25℃) 1/10mm		20以上																																						
骨材の微粒分量	%	5以下																																						

新潟県土木工事標準仕様書(その1)(図表) 新旧対照表

現行 (令和7年2月20日以降適用版)							改定案 (令和8年1月20日以降適用版)																																			
ページ	編	章	節	条	項	項以下	編	章	節	条	項	項以下	編	章	節	条	項	項以下	改訂理由																							
	2	2	8	3	0	0	2	2	8	3	0	0	2	2	8	3	0	0																								
	2	2	8	3	0	0	2	2	8	3	0	0	2	2	8	3	0	0	諸基準類との整合																							
85																																										
2-2-8-3 再生用添加剤 表2-2-26 再生用添加剤の標準的性状							2-2-8-3 再生用添加剤 表2-2-27 再生用添加剤の標準的性状																																			
<p style="text-align: center;">表2-2-26 再生用添加剤の標準的性状</p> プラント再生用							<p style="text-align: center;">表2-2-27 再生用添加剤の標準的性状</p> プラント再生用																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項 目</th> <th style="width: 50%;">標準的性状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動 粘 度 (60℃) mm²/s</td> <td>80~1,000</td> </tr> <tr> <td>引 火 点 °C</td> <td>250以上</td> </tr> <tr> <td>薄膜加熱後の粘度比 (60℃)</td> <td>2以下</td> </tr> <tr> <td>薄膜加熱質量変化率 %</td> <td>±3以内</td> </tr> <tr> <td>密 度 (15℃) g/cm³</td> <td>報告</td> </tr> <tr> <td>組 成 (石油学会規格JPI-5S-70-10)</td> <td>報告</td> </tr> </tbody> </table>							項 目	標準的性状	動 粘 度 (60℃) mm ² /s	80~1,000	引 火 点 °C	250以上	薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	2以下	薄膜加熱質量変化率 %	±3以内	密 度 (15℃) g/cm ³	報告	組 成 (石油学会規格JPI-5S- 70-10)	報告	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項 目</th> <th style="width: 50%;">標準的性状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動 粘 度 (60℃) mm²/s</td> <td>80~1,000</td> </tr> <tr> <td>引 火 点 °C</td> <td>250以上</td> </tr> <tr> <td>薄膜加熱後の粘度比 (60℃)</td> <td>2以下</td> </tr> <tr> <td>薄膜加熱質量変化率 %</td> <td>±3以内</td> </tr> <tr> <td>密 度 (15℃) g/cm³</td> <td>報告</td> </tr> <tr> <td>組 成 (石油学会規格JPI-5S-77-19)</td> <td>報告</td> </tr> </tbody> </table>							項 目	標準的性状	動 粘 度 (60℃) mm ² /s	80~1,000	引 火 点 °C	250以上	薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	2以下	薄膜加熱質量変化率 %	±3以内	密 度 (15℃) g/cm ³	報告	組 成 (石油学会規格JPI-5S- 77-19)	報告	
項 目	標準的性状																																									
動 粘 度 (60℃) mm ² /s	80~1,000																																									
引 火 点 °C	250以上																																									
薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	2以下																																									
薄膜加熱質量変化率 %	±3以内																																									
密 度 (15℃) g/cm ³	報告																																									
組 成 (石油学会規格JPI-5S- 70-10)	報告																																									
項 目	標準的性状																																									
動 粘 度 (60℃) mm ² /s	80~1,000																																									
引 火 点 °C	250以上																																									
薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	2以下																																									
薄膜加熱質量変化率 %	±3以内																																									
密 度 (15℃) g/cm ³	報告																																									
組 成 (石油学会規格JPI-5S- 77-19)	報告																																									
[注] 密度は、旧アスファルトとの分離などを防止するため0.95g/cm ³ 以上とすることが望ましい							[注] 密度は、旧アスファルトとの分離などを防止するため0.95g/cm ³ 以上とすることが望ましい																																			